

学校だより

【第4号】令和5年12月12日発行

<群馬県立しらがね特別支援学校通信>

しらがね祭

11月18日(土)に、しらがね祭を開催しました。今年度のスローガンは、児童生徒から募集した中から「みんなでスマイル 楽しいしらがね祭」に決まり、学校全体で一丸となって準備を進めることができました。保護者の皆様にも、準備の段階から多大なご協力をいただいたことを感謝申し上げます。児童生徒から「準備は大変だったけど楽しかった」や「作業製品が売れてうれしかった」などの発言を聞くことができ、貴重な経験をする事ができたのだと思います。
※写真は開会式の様子です。



小学部ステージ発表及び小学部販売

小学部ステージ発表では、「児童が得意としているダンス」の発表をしました。事前準備では、衣装はどのようにするかということや、動画を作るに当たって、始め、中、終わり、それぞれの内容をどうするかなどを児童同士で相談しました。出来上がった動画内では、練習を重ねたダンスを披露することができ、準備してきた努力を伝えることができました。

小学部販売では、メモスタンド、クリスマスリース、アイロンビーズで作ったマグネット、木の実の詰め合わせを販売しました。しらがね祭までの約一週間、児童たちは製品作りに一生懸命取り組みました。当日は「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」など大きな声で接客し、陳列した製品のほとんどを完売することができ、達成感を味わうことができました。



中学部ステージ発表

中学部ステージ発表は「カッコ良さの舞台裏～中学部の日常～」をテーマに普段の授業の様子を写真や動画で紹介しました。写真や動画を通して、努力や成長を発表することができました。

事前準備では、ボード作成係とナレーション係の役割をそれぞれ担い準備を行いました。動画内では、ボードを使って授業を紹介したり、ナレーションで努力の様子を伝えたりしました。写真や動画には、その努力の痕跡が随所に見られ、生徒たちがどれほど真剣にこのステージ発表に向けて努力をしていたかを伝えることができました。

事後に生徒たちに感想を確認すると「事前の準備が大変だったけど、すばらしいステージ発表になった」と笑顔で語っていました。生徒たちの日常的な努力が成果につながったことを伝えることができ、すばらしいステージ発表になりました。



高等部ステージ発表

高等部ステージ発表は、一学年が「友情」、二学年が「笑顔」、三学年が「元気」の校訓をテーマに取り組みました。

二学期が始まってすぐに準備が始まり、ダンスや歌、合奏やボディパーカッションなど、限られた時間の中で、衣装や構成など細部にもこだわり、練習を積み重ねました。それぞれの学年の特徴がとてもよく出ていて、ステキな作品に仕上がりました。

しらがね祭当日、初めて自分たちの出演する映像を見た生徒達は、真剣なまなざしで自分や友達の様子に見入っていました。保護者の方に見ていただくことをドキドキしながら楽しみにしている様子も伝わってきました。発表が終わり大きな拍手をいただいたときには、達成感に満ちた笑顔がたくさん見られました。「準備が大変だったけど、楽しかった」「合奏が難しかったけど、みんなでそろったときがうれしかった」などの感想が聞けました。

ステージ発表の準備を重ねる中で、生徒達同士で教え合う姿や協力する姿がたくさん見られました。一つの作品を作り上げていく中で、生徒達の成長をたくさん感じることができました。

